

第 759 回 例 会

30年4月13日

本日のプログラム

- ・ソング 「手に手つないで」
- ・卓話 馬場 基 会員
「古美術業界の現状を踏まえた賢い対策」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」
- ・第10回理事会・次年度準備理事会 13:40～ 4階「桃山の間」

次回(4月20日)のプログラム

- ・ソング 「手に手つないで」
- ・卓話 秋山 千尋 会員
「私のRCアラカルト」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」

米山奨学生のご紹介

2018年4月から当クラブに新しい米山奨学生がやって来ました。ご紹介します。

氏名：郎 宇（ロウ ウ） 性別：男性
 国籍：中国
 大学：大阪市立大学 都市系 博士
 奨学期間：2018年4月1日～2020年3月31日
 当クラブカウンセラー：小山田 光正

先週(4月6日)の例会報告

■会長の時間

4月 卯の花が咲く月「卯の花月(うのはなづき)」を略したもの。

十二支の4番目が卯(うさぎ)なので「卯月」いわれるようになったという説もあります。

※「卯の花」は「空木(ウツギ)」の別名です。ユキノシタ科ウツギ属で白くてかわいい花を咲かせます。

おからを炊いた「卯の花」という料理の名前も、この花からきているようです。

<花まつり>

4月8日 ブッダ(お釈迦様)の誕生日。

「灌仏会(かんぶつえ)」「仏生会(ぶっしょうえ)」「降誕会(ごうたんえ)」ともいいます。

インド古来の行事で、日本では推古天皇(すいこてんのう)の時(7世紀初め)に、すでに行われていました。

「花祭り」の名は明治時代に浄土宗で用いた言葉とされていますが、現在は宗派を問わず用いられています。お寺にお参りして、草花を飾った花御堂に安置された誕生仏に甘茶を注ぎ、礼拝します。甘茶はブッダ誕生の時、九体の竜が香湯を注いだという伝説に基づいています。

【来客紹介】 0名

【出席報告】

30年4月6日(第758回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
36名	0名	25名	11名	69.44%

【幹事報告】

[メールBOXに配布]

1)ロータリーの友(4月号)

[メール送信]

1)ガバナー月信(4月号) ⇒ 4/2 配信

2)ロータリーの友(4月号)推奨記事と関連記事のご紹介 ⇒ 4/6 配信

[回覧資料]

1)血液センターニュース(2018春)

ニコニコ箱(4月6日)

秋山 千尋 =本日は皆様から頂いたアンケート検討会、どんな結果が出るやら。

榎本会員の卓話、頑張ってください。

河田 英子 =ちょっと嬉しいことがありました。

今日は大阪城公園で交通安全大会に招かれました。この間より次男の京大医学博士授与式と長女の大学院入学式とうれしいことが続いています。春雨にぬれたもののこれからの八重桜が楽しみです。

中根三恵子 = 笹倉様、辻田様、郎くん、ようこそ大阪ユニバーサルシティロータリークラブへ いらっしやいました。心より歓迎いたします。宜しくお願いいたします。

森本 良嗣 = 今日は、笹倉様、辻田様、入会初出席、ご苦労様です。今後とも、宜しくお願いします。そして郎君もがんばって行きましょね。今日は河田先生も久々の出席、本当に良い日です。

大屋 準一 = 久しぶりの雨で花粉・PM2.5がなくなると良いですね。新入会員の辻田さん、笹倉さん、よろしく願います。榎本さん、卓話を楽しみにしております。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 5000円	今年度合計 4190856円
---------	-------	-----------	----------------

卓話(4月6日)

「画像診断報告書 ～相次ぐ確認不足～」 榎本 仁 会員

コンピューター断層撮影装置(CT)などで撮影した検査結果を記載する「画像診断報告書」の内容が医師間で共有されず、がんの治療が遅れ、患者が亡くなる事例が相次いでいる。大学病院が死亡事案を公表しているが、氷山の一角との指摘もある。どの病院でも起こりうる課題として医療界は危機感を強めており、対策に動き出している。

2015年10月、70代の男性は強い貧血で●●医大病院(東京)に救急搬送された。消化管からの出血の疑いでCT検査を実施し、放射線科医は肺がんが疑われることから「短期間でのfollow(フォロー)が望まれます」と画像診断報告書に記載した。

〈肺がん見落とす〉

だが、救急医から病棟医、外来医へと担当医が変わる中で、この重要情報が共有されなかった。男性の肺がんの発覚は1年遅れ、17年2月に亡くなった。同病院は年間約8万5千件のCTや磁気共鳴画像装置(MRI)の検査を行う。このうち1割は「要経過観察」や「要精査」が必要で、検査結果に見落としがあれば患者に重大な影響を及ぼす可能性がある。

院長は「今後も起こりうる問題」と話す。医師間で重要情報を確実に伝え、共有する教育や研修を強化するが、それだけでは防ぎ切れないことから様々な仕組みを整備する。

その一つが診療情報室の職員が医師に報告書の内容を把握したか連絡することだ。17年10月から実施しており、18年4月には担当者を現在の1人から3人程度へと増やす予定。例えば画像診断報告書に「半年後に再検査が必要」と書かれていれば、実際に実施されたかどうか追跡していく...

重要情報共有されず／再発防ぐ 対策続々
病理診断でも確認忘れ／厚生省が注意喚起

(日本経済新聞2018年3月19日より 抜粋)

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459
会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか